

玄海町の特徴や誇れるもの

- 玄海国定公園の一部を有する
- 浜野浦地区の棚田(棚田百選)での米作り
- 真鯛・牡蠣・鮎などの養殖
- みかん、いちご、玉ねぎ等の栽培
- 酪農や畜産業が盛ん
- 玄海町花火大会と産業文化祭



写真提供: 仮屋漁協



写真提供: 佐賀県観光連盟



写真提供: 玄海町企画商工課



写真提供: 佐賀県観光連盟

海洋教育・ユネスコスクール・愛鳥モデル校

◆海洋教育パイオニアスクールプログラム 地域展開部門活動参加校(笹川平和財団海洋政策研究所・日本財団主催)、ユネスコスクール加盟校として、1～9年生の全学年で海洋教育に取り組んでいる。「海に親しみ 海を知る 未来につなげる海からの学び」をキーワードに、海の生きもののことや海洋ごみ問題など、さまざまな視点で「海」を捉え、学習を行っている。

◆棚田での田植えや稲刈りを行ったり、景観を際立たせるライトアップ用の照明の設営を行ったりするなど、里山の保全に協力している。

◆ユネスコスクール加盟校として、町と協力し、防災教育に取り組んでいる。

◆愛鳥モデル校に指定されている。学園近くの野鳥の観察を通して、玄海町が海や林野などの自然に恵まれた環境であることを児童生徒は実感している。



教育委員会所在地: 東松浦郡玄海町大字新田1809番地6

連絡先: 0955-80-0234

学校数: 義務教育学校 1校

前期課程の取組

・6年生は、総合的な学習の時間に、「玄海町の自然を守ろう(海編)」として、探究学習を行っている。浜野浦の棚田は棚田百選にも選ばれるほど美しい景観であるが、その下に広がる浜野浦海岸に目を向けると、ごみや漂流物が散乱している状況が続いている。この現状に目を向け、課題解決に向けて自分なりの仮説を立て調査・分析・検証のサイクルを回す中で、玄海町の未来を考え、郷土を愛する心を育んでいる。



後期課程の取組

・7年生(中1)は、総合的な学習の時間に玄海町の「電気エネルギーを生み出す町」という特徴に着目してエネルギーについて学んでいる。5年生の時に玄海エネルギーパークの方に教えていただいた発電方法を起点に、まず玄海町にある原子力発電・風力発電・バイオガス発電のそれぞれのメカニズムを調べた。次に、これら以外の発電方法(海洋エネルギー発電・火力発電・水力発電)に興味をもち調査した。あらゆる発電方法について調査する中で、メリット、デメリットがあることを見いだした。これらを総合的に勘案し、生徒一人ひとりが、望ましいと思える「エネルギーミックス」について考えをまとめている。生徒は、現在の生活がいかに電気に頼っているかに気付き、それを支える役割を玄海町が担っていることに誇りを感じている。

